

自己点検・評価報告書

(平成27年度)

平成28年4月報告

名古屋美容専門学校

1. (1) 名古屋美容専門学校教育理念

美容に必要な基礎教育と専門的実践教育を行い、豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。

(2) 名古屋美容専門学校学則

第 1 章 総 則

(目的)

第3条 本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、美容に必要な基礎教育と専門的実践教育を行い、豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
・学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

- ・本校の教育理念・教育目標・教育方針・アドミッションポリシーは具体的に示している。学外にはホームページ、募集パンフレットで開示している。入学生に対してはハンドブックに記載し、教員が入学前説明会及び初日オリエンテーションで周知している。
- また、理念・教育目標の実現に向け、教育内容の差別化と向上を図るべく、教育課程表を適時見直している。
- ・業界のニーズに対しては、就職業者対象の説明会でアンケートを取り、カリキュラムに反映している。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・将来構想については、平成28年度までは明記している。それ以降について方向性は示しているが明文化する必要がある。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1

・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

・理事会で意思決定した法人の運営方針、事業計画に基づき、本校の中長期計画や事業計画に基づいて学校運営を実施している。また、学校運営を行うための諸規程や諸規則については整備しており、適切に運営している。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・業務の効率化を図るための専修学校管理システムの導入は、姉妹校と合わせ法人本部主導で計画することとなった。
- ・教育活動に関する情報はHPなどで適時公開している。シラバスの公開については、平成28年度より行う。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4 ③ 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

- ・各教科の到達目標はシラバスに示し授業を進めている。内規も整備済みであり平成28年度よりシラバス、成績評価、単位認定などをハンドブックに記載する。
- ・優れた教員を確保するマネジメントは、契約書・本部への稟議書などで記録している。平成28年度より学校関係者評価を実施している。
- ・教員の授業力を高めるため、学生による授業改善アンケート、教員による授業評価、模擬授業研修会を行っている。

<課題、今後の方策、特記事項>

・資格取得などに関する指導システムについては以下を整備する。

①推奨検定の一覧表と優先順位 ②検定統括者の決定 ③各検定チーム作成及び指導システムの確立 ④各検定取得状況一覧表など記録をまとめた。

今後、「ヘアケアマイスター」を重要検定に位置付け、全教員が資格取得するよう奨励する。

・成績評価マニュアルについては未整備である。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 ② 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1

・就職率の向上、資格取得(国家試験)の向上、退学率の低減の仕組みはできており、成果も出している。

・卒業生の社会的評価を把握するため、平成28年度に卒業生会を開催する。

<課題、今後の方策、特記事項>

・問題発見・学生対応のスピード、学生・保護者との人間関係の構築など、担任力の強化については学年主任を中心に今後も継続する。

・卒業生の活躍や評価、教育活動の改善のための活用や情報共有をするため、就職担当主導で一覧表など記録を残すこととなっていたがチェックができていないため、情報を掴めた者は職員会議で報告することとした。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・在校生への留学支援体制はあるか	4 ③ 2 1

- ・学生の健康管理は、平成27年11月より各クラス担任が学校日誌に記録をしている。
- ・課外活動に対する支援は、業界団体や業界紙の支援のもと多数の取り組みを行っている。
- ・卒業生への支援体制は求人紹介・資格取得(国試再受験支援)・就職相談・個別相談などを行っている。
- ・学級新聞を作成し、成績表と同時に保護者に送付している。
- ・平成27年11月よりメールにて保護者への一斉連絡を行うことについては、前倒しで10月に「マンスリーチェック」の開催通知を行ったのみである。他に、ツイッターのつぶやきが全て同じメールアドレスに入ってくる為、現在3000通もの未読メールが溜まっている。他のメールアドレスを使用することや、年間の送信計画・担当者など設計をし直す必要がある。
- ・平成27年度は、イギリスに短期留学生を1名送り出した。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・近隣姉妹校と連携し、カウンセラーや養護教員などの体制も整える必要があるが手つかずである。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

- ・授業のためのモニター台数などが不足しているため、平成28年度に各教室プロジェクター設置の予算を確保し、8月に設置予定である。
- ・消防法に定められている最低限の項目はクリアしている。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・学習に必要な老朽化した学習机160台を入れ替えた。
- ・移動式ロッカーは必ず固定するよう実施中。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

- ・学生募集活動は愛知県専修学校各種学校連合会の規定の沿って適正に行っている。
- ・教育成果は学校案内、ホームページ、SNSを通じて正確に伝えている。
- ・高校や会場での業者企画のガイダンスにて在学生の状況を高校生に伝えている。
- ・高校教諭に対しては、直接高校訪問を行い卒業生の状況を報告している。
- ・学納金も適性であり、入学前の辞退者についても必要に応じて返金を行っている。

<課題、今後の毅然方策、特記事項>

- ・指定校推薦入学希望者の減少理由を検証する。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

- ・予算執行、監査、及び財務の情報公開については、概ね適正になされている。
- ・人件費の増加分を含め、支出を抑止については予算を下回るよう執行している。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・支出は予算内執行をしているが、更なる利益を出せるよう、各事業を見直す必要がある。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

- ・専修学校設置基準や関係法令の遵守を徹底し、適正な運営がなされている。個人情報については方針をハンドブックに明記し周知している。自己評価の実施と問題点の改善にも努めている。

- ・自己評価の開示はHP上で行っている

<課題、今後の方策、特記事項>

- 自己評価の問題点の改善に努めてはいるが、まだまだ充分ではない。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4 3 ② 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

- ・平成27年から献血の推進活動や、金山商店街の会員として地域貢献できる活動に参加している。
- ・大学新聞社主催の教育関係者を対象とした進路アドバイザー検定の会場に校舎を提供している。
- ・学校祭(HALLOWEEN)に近隣住民や就職業者などを招待している。
- ・ミス・ユニバース日本代表による公開講座(BEAUTY CAMP)の開催を2回実施した。参加

人数は平成26年4回実施で91名、平成27年度は2回実施で99名であった。その他、愛知大会のバックヤードに学生10名(限定)が参加し実践を積んだ。また、述べ60名の学生が、ファイナリストと共にビューティキャンプのレッスンを受講した。

＜課題、今後の方策、特記事項＞

- ・ミス・ユニバース日本代表による公開講座(BEAUTY CAMP)の開催を平日の午後に変更することとした。
- ・金山商店街の清掃とは別に校舎周辺の清掃活動や、エコキャップ運動など学生会主体で実施することを計画中である。

(11) 国際交流

・現状、留学生の受け入れは行っていない。本校学生と姉妹校留学生の着付け授業を行うなど国際交流の場を設けている。